

ロペラミド細粒の使いかた

少量精密チューニングによる、ベージニオ誘発性下痢のコントロール



ロペラミド細粒とは？

ロペラミド細粒は、少量から服用量を調整できる製剤です。0.5mg (1包) ずつ増減できるため、精密なコントロールが可能です。



相澤病院
代表 0263-33-8600

⚠ 使用にあたっての注意

- 下痢が続く場合は脱水に注意し、水分を十分に摂ってください。
- 便秘になった場合は減量または中止してください。
- 37.5℃以上の発熱や血便を伴う場合は、医療機関にご連絡ください。

推奨プロトコル (細粒を用いた少量精密チューニング法)

1 開始の目安

下痢 (軟便～水様便) が出現したら開始



2 初期投与

2包のむ



1mg = 2包 (0.5mg × 2包)

3 効果判定と追加投与

2時間後、下痢が継続していたら0.5mg (1包) を追加してのむ。

下痢が落ち着くまで、その日は2時間ごとに0.5mg (1包) のむ



4 翌日から (用量の調整)

ベージニオ服用時に0.5mg (1包) を朝夕服用



昼の下痢が因れば
1日3回 0.5mg (1包) ずつに増やす



午前中の下痢回数が多ければ
朝 1mg (0.5mg × 2包) を増やす
など試してみる



安定した排便サイクルの構築

- 目標ゾーン (スコア4～6) で安定したら、その用量を継続します。
- 排便が安定している期間は、定期的に見直しを行いましょう。
- 生活リズムや食事、運動、ストレス管理も大切です。

目安となる排便スコア (ブリストルスケール)



1～3: 便秘傾向

4～6: 目標ゾーン

7: 下痢



目指すべきゴール
過剰なストップではなく
「生活品質の維持」



泥状～布形便の維持
(スコア4～6)



安定した排便
サイクルの構築



治療の継続と
QOLの向上

※本プロトコルは医師等の判断のもと実施してください。症状や体調が悪化する場合は、速やかに医療機関にご相談ください。